

広報見聞録

第35回 檜山子連 子どもかるた大会  
「せたなA」チームが優勝！ 2チームが全道大会へ！

Koho - kenbunroku



1月12日（日）にふれあいプラザで行われた「第8回 せたな町子連子どもかるた大会」



1月19日（日）に厚沢部町で行われた「第35回 檜山子連子どもかるた大会」

1月19日（日）、厚沢部町総合体育館において、「第35回 檜山子連子どもかるた大会」（檜山地域子ども会育成連絡協議会主催）が開催され、檜山管内からジュニアの部10チーム、小学生の部18チーム、中学生の部14チームの全42チーム156人が出場しました。

せたな町からは1月12日（日）に行われた「第8回 せたな町子連子どもかるた大会」のジュニアの部上位2チーム（瀬棚Jr、大成東部Jr）、小学生の部上位4チーム（北檜山A、北檜山B、北檜山C、瀬棚）、中学生の部（せたなA、せたなB）の計8チームが出場し、子どもたちは、関係者が見守る中、熱戦を繰り広げました。

大会結果は、小学生の部で北檜山Cが3位に入賞。中学生の部ではせたなAが見事優勝し、せたな町から2チームが2月23日（日）に札幌市定山溪で開催される全道大会へ出場します。

編集後記

●スタッフチームとしてせたなCUP雪合戦大会に初めて出場したのですが、各チームのレベルの高さに驚きました。どの試合もハイレベルで私は雪玉の補給をさせていただいて2被弾。しかも雪玉製造機で作った雪玉は、想像以上に硬くて頑丈で、被弾した腕と腹には青アザが、それだけで済まず、取材中に自分のデジカメも被弾し前代未聞の大惨事も。試合にも負け、使える写真が1枚も撮れず、デジカメも壊れ、踏んだり蹴つたりの1日でした。来年はこの苦い経験を活かします…。(児島)

●すこいですね「かるた大会」でも全道出場。スポーツを含め、子どもたちの活躍には目を見張りますね。小さいころ「かるた」がものすごく苦手で、分かりやすい「乙女の…」一枚を全神経注いで死守していた記憶があります。できる人がうらやましく。実は今朝、オリンピックのジャンプ団体が日本が4大会ぶりのメダルを獲得。そんな記念すべき日に、寝不足の目をこすりながら編集後記を書いています。大きな重圧のなかでもベストを尽くす選手たち、見ているこっちが緊張で息が詰まります。そんなスポーツ観戦が大好きなんです。ネガティブでプレッシャーに弱い自分は、自然と選手のメンタル面をイメージ(妄想)しながら、多分、選手よりガチガチに緊張しながら観戦してるかもしれない。今回の「かるた大会」でも張り詰めた空気のなか、結果を出す子どもたち、尊敬します。よし！自分も皆さんからの「編集後記いつも見てるよ！」のプレッシャーに負けずベストを尽くす！せたなかな？(尾野)

